

令和 5 年鋸南町教育委員会第 1 3 回定例会議事録

1. 日 時 令和 5 年 1 2 月 2 1 日（木）午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 5 5 分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2 階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人
委員 篠原 恭恵 委員 伊藤 尚徳
4. 出席職員 教育課長 安田 隆博 主任指導主事 助川 孝浩
教育総務室長 福原 規生 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が山野委員を指名
7. 議事録の承認 令和 5 年 1 1 月 1 6 日開催の第 1 2 回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし

9. 教育長の報告

それでは、まず初めに、教育長の報告をさせていただきます。お配りしました資料を見ていただきたいと思います。これは、小学校長より令和 6 年度の鋸南小学校の学校運営について、改革案がありますので事前に見て欲しいということでした。

1 1 月 1 8 日の教育の日には、学校運営協議会の委員 1 1 名の方々にもこれを配ったそうです。私もいただいておりますので、若干の説明をさせていただきます。

委員の皆さんには、この後、ご意見をお願いします。入学式については、卒業式も同じですが、参加者が町長、教育長、P T A 代表となっていますが、議長、教育委員も加えたら良いと考えています。

遠足ですが、私はよいと思います。

運動会は、学校の中だけやって、地域の人も呼ばない、それから教育委員会も出ないっていうのはおかしいと思っております。開催日は、平日の午前中ということでありますが、地域の方々に発表することを考えると、やはり土曜日、日曜日で、開催時期は、10月後半で良いと思います。

校外学習は良いと思いますので、どんどんやっていただきたい。

卒業式ですが、修了式の直前にやりたいとなっています。私立中学の説明会は3月の第3週に行われていますので、遅いと思います。

P T A活動は、総会を対面でやらなきゃいけないということもありますし、十分な資料を提供し、理解を得られるのであれば、私はいいと思っております。

問題は、鋸南小学校における児童下校後の事務処理時間の確保です。道徳が教科化になったり、一昨年から英語が教科化になったりして、小学校は忙しいです。更に、校内研修とか職員会議だとか、余裕を持ってできないというのが現状です。それを解決するために、南房総市は今年から小中学校ともに、週28時間で授業を展開しており、退勤までの約2時間を教材研究等に充てています。

日本の小・中学校の授業は、年間35週ですが、多少余裕を持って年間43週ぐらいやっています。現状を踏まえ、文科省からは、先生方の長時間勤務の要因となっているので、オーバーして授業をやらなくてもいいとしております。南房総市はギリギリの線で、今やっているわけで、足りない部分は夏休みに1週間ぐらい登校させてやっています。鋸南町でも去年、校長先生方に検討していただきましたが、小学校は検討したができない、中学校は必要ないという回答いただいていた。今年も安田校長に検討していただきましたが、週28コマにするのは、そんなに急ぐ結論ではないという返事をいただいております。

小学校ですが、これを実施すると様々な課題が大きくなるのしかかってきます。最も大きな課題は、スクールバスと、給食です。これらをクリアするというのはなかなか大変なことです。

私は、教育委員さんからのご意見も伺い、回答をしたいと考えております。この会議の最後にご意見をいただければありがたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

以上で教育長の報告をさせていただきます。

10. 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

- ・ 福原教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降 1 件だった旨、報告がなされた。

(2) 各担当からの報告について

① 助川主任指導主事から、各学校の様子、行事についての報告・説明がなされた。

(質疑等)

- ・ 山野委員から、「高台への避難訓練について、行きは県道、帰りは裏道を通ったとの事だが、安全面はどうだったか。」との質疑に対し、
助川主任指導主事から「県道は道幅も広く移動の距離も短いです。避難の途中勝山学園に逃げる事も選択肢としてあるので、校長は原則県道を使って避難すると言っていました。」との答弁がなされた。
- ・ 山野委員から、「幼稚園のプランターの花を抜かれる被害について、防犯カメラに写っていないか。」との質疑に対し、
助川主任指導主事から「プランターは、防犯カメラに映らない位置にあります。」との答弁がなされた。
- ・ 篠原委員から「幼稚園の園庭開放について約束事の表示はあるか。」との質疑に対し、
助川主任指導主事から「表示はしていないが、保護者に注意喚起しています。」との答弁がなされた。

② 笹生生涯学習室長から、鋸南中・天羽中の鋸山プロジェクトについて、生涯学習室関係のイベントについて、報告・説明がなされた。

③ 福原教育総務室長から、学童保育所・幼稚園一時預かり保育所運営委託業者の決定について、紺綬褒章の伝達について報告・説明がなされた。

- ・ 篠原委員から「学童等の運営を業者委託することで変わる事はあるか。連絡調整等の会議は行うか。」との質疑に対し、
福原教育総務室長から「業者への委託をすることで指導員への教育が充実すると考えています。また、保育時間を延長し、子育て支援の充実を予定しています。連絡調整等の会議は引き続き行っています。」との答弁がなされた。
- ・ 山野委員から「保育中に事故が起こった場合、町の責任はあるか。」との質疑に対し、
福原教育総務室長から「他の業務委託の例で、委託元の自治体にも責任を問われ

たことを聞いていますので、町に責任が無いとは考えていません。」との答弁がなされた。

- ④安田教育課長から、12月の鋸南町定例会での教育課関連の一般質問について、中学校の部活動の移動中の交通事故について、元教育長の訃報についての報告・説明がなされた。

11. その他

- ①福原教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

- ②富永教育長から、3月定例会日程について協議があり、21日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

- ③富永教育長から小学校の学校行事の見直しについて、教育委員に意見を求めた。

- ・入学式、卒業式についての意見は、に対し、

篠原委員から「地域の皆さんと一緒に祝う事が大切である。」との意見がなされた。

- ・遠足についての意見は、に対し、

篠原委員から「目的地の鋸山は良いと思う。地域のガイドを依頼するともっと良い。」との意見がなされた。

- ・運動会についての意見は、に対し、

山野委員から「運動会は地域の方々に見てもらえる良い機会。地域の方々が来やすい日程が望ましい。」との意見がなされた。

篠原委員から「運動会は楽しむ行事であってほしい。」との意見がなされた。

伊藤委員から、「運動会を土日に開催することで教職員の負担はふえるか。」との質疑に対し、

助川主任指導主事から「秋の開催になれば子どもたちの成長もあり行事に費やす時間は短くなります。」との答弁がなされた。

伊藤委員から「運動会の平日開催に抵抗を持っている保護者が多いと思われる。」との意見がなされた。

- ・校外学習についての意見は、に対し、

篠原委員から「4年、5年は行き先が同じなので一緒にやったら良いと思う。」との意見がなされた。

- ・卒業式についての意見は、に対し、

篠原委員から「最近を着物を着る子もいるので親からのクレームがあるのでは。」

との意見に対し、
助川主任指導主事から「華美な服装の防止も含んでいるそうです。」との答弁がなされた。

- ・ P T A活動についての意見は、に対し、

委員からの意見は無く、富永教育長から「今までと変わる部分は P T A 役員と一緒に検討し了解が得られれば良い」との意見がなされた。

- ・ 児童下校後の事務処理時間の確保についての意見は、に対し、

富永教育長から「現在、学校は 3 5 週やればいい所を 4 1 週やっている結果長時間労働となっている。これを解消するためスクールバスの運行時間の変更等の課題があり、すぐには変更できない。」との意見がなされた。

篠原委員から「今年の猛暑を考えると、夏休みに学校に通うのも良いのではないか。」との意見がなされた。

安田教育課長から「学校に課題があるように教育委員会にもスクールバス等の予算の増額、社会教育行事への影響等が想定され、これらの課題を解決しないと対応できません。また、大きな変更は反発を伴うので、時間を掛けて変えて行く事も必要だと思います。」との意見がなされた。

伊藤委員から「文科省は教員の負担を減らすことを重視しており指導要領も変わってくるのではないか。近い将来、授業数を減らし、子どもたちの自由な時間を増やすと同時に教職員の負担を減らす流れになって行くと思われるが、予算の確保も必要ではないか。」との意見がなされた。

12. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和 6 年 1 月 2 5 日

鋸南町教育委員会 教 育 長 富 永 安 男

教 育 委 員 山 野 正 人

議 事 録 作 成 事 務 局 福 原 規 生